

文 化 財

文 化 財	211
彦根城博物館	218
彦根城世界遺産登録	223

文化財

1. 平成 28 年度の目標

文化財は、彦根市の歴史や文化を理解する上で、欠くことができない市民共有の資産であり、特別史跡彦根城跡をはじめとする貴重な文化財の適切な保存と活用を図るとともに、埋蔵文化財や未指定文化財の調査を推進する。

○ 文化財保護の推進

市内に残る貴重な文化財の適切な保護を図るため、未指定文化財の調査、文化財委員会をはじめとする各委員会の開催および指定文化財の防災対策・保存修理に必要な補助を行う。

市民の文化財に対する理解を高めるため、文化財を解説する探索ウォークや出前講座などの啓発事業を推進する。

○ 埋蔵文化財発掘調査の推進

文化財保護法に則して、市内で行われる開発行為に対する行政指導を適切に行い、埋蔵文化財の発掘調査を推進する。

○ 特別史跡「彦根城跡」保存整備および維持管理の推進

特別史跡彦根城跡保存活用計画に基づき、本市の文化財保護事業の核となる特別史跡彦根城跡の保存整備を進めるとともに、昨年度に特別史跡彦根城跡に追加指定された中央町の彦根城外堀跡について公有地化を行い、今後の整備・活用に向けての検討を行う。

また、石垣の詳細測量調査を実施するとともに、樹木が繁茂しているため、危険木の伐採や石垣周辺の樹木の整備を実施する。

彦根城跡の適切な維持管理を図るとともに、重要文化財の各櫓を一般公開するなど、彦根城の価値をより多くの来訪者に公開していくよう努める。

○ 名勝玄宮楽々園保存整備事業の推進

名勝玄宮楽々園整備基本計画に基づき、玄宮園の魚躍沼護岸の発掘調査を継続するとともに、整備に係る実施設計を進める。また、楽々園地震の間棟などの保存修理を進める。

○ 伝統的建造物群保存の推進

彦根市河原町芹町地区伝統的建造物群保存地区の保存推進のため、建築基準法の緩和条例策定のための調査を進める。また、地元住民の理解を得るための啓発活動を行う。

2. 平成 27 年度の実績（主なもの）

○ 文化財保護の推進

- ①文化財委員会の開催（3回）
- ②市指定文化財の拡充（2件）
- ③指定文化財の保存修理（6件）および維持管理の推進、文化財パトロールの実施
- ④旧彦根藩松原下屋敷（お浜御殿）庭園の維持管理と特別公開（春秋の計2回）
- ⑤未指定文化財調査の推進（建造物5件、歴史・民俗資料7件）
- ⑥郷土芸能への補助（4団体）
- ⑦佐和山城総合調査検討委員会の開催（2回）、佐和山城跡範囲確認調査および航空測量の実施
- ⑧埋蔵文化財発掘調査の推進（本調査14件、試掘52件、立会52件、慎重工事50件）
- ⑨写真資料のデータ化（1,995枚）
- ⑩旧井伊神社社殿現況調査

○ 特別史跡「彦根城跡」保存整備および維持管理の推進

- ①特別史跡彦根城跡石垣保存修理
（尾末町中堀外石垣解体修理、米蔵水門南内堀内石垣・桜場東面中堀内石垣測量調査、米蔵水門南内堀内石垣事前発掘調査・尾末町中堀外石垣解体時発掘調査）
- ②彦根城馬屋の保存修理
- ③天守・天秤櫓・西の丸三重櫓・二の丸佐和口多聞櫓・太鼓門櫓の公開
- ④楽々園保存整備事業（地震の間ほか）、楽々園特別公開
- ⑤玄宮園護岸保存整備事業、設計委託業務

- ⑥彦根城跡樹木整備事業
- ⑦彦根城跡山道補修（太鼓丸）

○文化財啓発の推進

①開国記念館展示の実施

常設展「彦根の歴史」、企画展「佐和山城と石田三成」、特別展示「NAOSUKE・直弼・なおすけー近現代の中の井伊直弼ー」、速報展「特別史跡彦根城跡石垣保存修理パネル展示（新発見！！彦根城跡から佐和山城の瓦出土）」、「彦根城外堀跡発掘調査成果パネル展示」など

②その他展示の実施

民具展「くらしの中の竹道具」、湖東焼の窯場跡の展示など

③現地探索講座の開催

彦根城石垣探検隊、彦根城外堀探検隊、荒神山文化財ウォーキングなど

④出前講座の実施（127回）

⑤刊行物の発行

「彦根城外堀関連遺構範囲確認調査報告書 1」、特別展示図録「NAOSUKE・直弼・なおすけー近現代の中の井伊直弼ー」、「彦根市文化財年報」など

⑥エフエムひこねラジオ放送（週1回）

○伝統的建造物群保存の推進

①まちなみ相談室の開設（8回）

②啓発リーフレットの発行（9回）

③地元説明会（2回）

④河原町・芹町地区伝統的建造物群保存地区保存審議会の開催

⑤都市計画審議会への諮問

(1) 埋蔵文化財調査実施例（平成27年度）主なもの

遺跡名称	時代	種類
○佐和山城跡	中世	城館跡
○福満遺跡	縄文時代～中世	集落跡
○丁田遺跡	古墳時代～中世	集落跡
○稲部遺跡	弥生時代～古墳時代	集落跡
○稲部西遺跡	古墳時代～平安時代	集落跡
○彦根城外堀跡	近世	城館
○普光寺廃寺遺跡	奈良時代	寺院跡

(2) 彦根城入場者

年 度	彦根城・玄宮園（有料入場者数）（人）	総 計（無料含む）（人）
18年度	499,255	526,776
19年度	790,402	849,056
20年度	635,276	666,626
21年度	690,202	738,822
22年度	669,837	719,254
23年度	756,789	813,478
24年度	680,865	739,161
25年度	676,272	735,201
26年度	678,368	741,246
27年度	745,908	817,100

(3) 彦根城各施設入場料等

年 度	彦根城・玄宮園 (円)	茶 室 (円)	望遠鏡 (円)	総 計 (円)
18年度	245,756,053	11,687,900	169,560	257,613,513
19年度	652,530,841	19,173,812	237,375	671,942,028
20年度	345,881,820	12,839,000	220,905	358,941,725
21年度	379,134,980	11,548,800	201,240	390,885,020
22年度	369,471,981	9,054,460	171,315	378,697,756
23年度	413,762,007	13,795,500	157,950	427,715,457
24年度	369,965,367	12,658,000	158,895	382,782,262
25年度	369,145,811	11,711,900	150,075	381,007,786
26年度	372,387,644	12,313,100	160,065	384,860,809
27年度	403,383,260	13,962,100	188,325	417,533,685

(4) 指定文化財等一覧表

ア 指定文化財

種 別		名 称	員 数	時 代	所 有 者	
国 指 定	国宝	建造物	彦根城天守附櫓及び多聞櫓	2棟	桃山	彦根市
		絵画	紙本金地著色風俗図(彦根屏風)	6曲1隻	江戸	彦根市
	重要 文 化 財	建造物	彦根城太鼓門及び続櫓	1棟	桃山	彦根市
			彦根城西の丸三重櫓及び続櫓	1棟	桃山	彦根市
			彦根城二の丸佐和口多聞櫓	1棟	江戸	彦根市
			彦根城天秤櫓	1棟	桃山	彦根市
			彦根城馬屋	1棟	江戸	彦根市
			千代神社本殿	1棟	江戸	千代神社
			長寿院弁才天堂 附 棟札1枚	1棟	江戸	長寿院
			有川家住宅 附 文書3冊	5棟	江戸	個人
	彫刻	木造観世音菩薩立像	1軀	平安	少林寺	
		木造阿弥陀如来坐像	1軀	鎌倉	来迎寺	
		木造日光菩薩立像・木造月光菩薩立像	2軀	鎌倉	観道寺	
		木造伝切阿坐像	1軀	鎌倉	高宮寺	
	工芸品	太刀 銘国宗(備前二代) 附 井伊直忠寄進状(1通)	1口	鎌倉	彦根市	
		太刀 銘国宗(伯耆)	1口	鎌倉	彦根市	
		我宿蒔絵硯箱	1合	室町	彦根市	
	古文書	彦根藩井伊家文書	27,800件	桃山~明治	彦根市	
	特別史跡	彦根城跡	489,933㎡	江戸	彦根市ほか	
	史 跡	彦根藩主井伊家墓所	6,370㎡	江戸	清凉寺	
荒神山古墳		15,101㎡	古墳	個人ほか		

文化財

種 別	名 称	員 数	時 代	所 有 者	
国指定	名勝	玄宮楽々園	28,723 m ²	江戸	彦根市
		旧彦根藩松原下屋敷(お浜御殿)庭園	20,881 m ²	江戸	彦根市
県指定	建造物	多賀大社鳥居(一の鳥居)	1 基	江戸	多賀大社
		長寿院伽藍	4 棟	江戸	長寿院
		長久寺本堂(観音堂)	1 棟	江戸	長久寺
		彦留神社社殿	1 棟	江戸	彦留神社
	彫 刻	木造阿弥陀如来立像 附 像内納入品	1 躯	鎌倉	宗安寺
		木造阿弥陀如来立像 快慶作	1 躯	鎌倉	圓常寺
		木造僧形坐像	1 躯	中国・唐	千手寺
		木造僧形神坐像	1 躯	平安	本隆寺
	絵 画	絹本著色他阿真教像	1 幅	室町	高宮寺
	工芸品	刺繍阿弥陀三尊来迎図	1 幅	南北朝	唯稱寺
		彦根藩井伊家伝来具足	25 領	桃山～江戸	彦根市
	史 跡	湖東焼窯場跡	5,880 m ²	江戸	個人
	名 勝	有川氏庭園	156,205 m ²	江戸	個人
市指定	建造物	旧西郷屋敷長屋門 附 袖塀・塀及び高麗門	1 棟	江戸	最高裁判所
		旧池田屋敷長屋門	1 棟	江戸	彦根市
		旧広田家(納屋七)住宅 附 茶室	1 棟	江戸	個人
		旧鈴木屋敷長屋門	1 棟	江戸	彦根市
		旧彦根藩足輕組屋敷 (善利組・太田家住宅)	1 棟	江戸	個人
		旧彦根藩武家屋敷(大村家住宅) 附 塀・門及び長屋	1 棟	江戸	個人
		金亀会館	1 棟	江戸	彦根市
		旧彦根藩足輕組屋敷 (善利組・中居家住宅)	1 棟	江戸	個人
		旧彦根藩足輕組辻番所(善利組)	1 棟	江戸	彦根市
		旧彦根藩足輕組屋敷 (善利組・旧磯島家住宅)	1 棟	江戸	彦根市
		旧彦根藩足輕組屋敷 (善利組・林家住宅)	1 棟	江戸	個人
		鹿島家住宅	1 棟	江戸	個人
		旧彦根藩足輕組屋敷 (善利組・服部家住宅)	1 棟	江戸	個人
		旧彦根藩足輕組屋敷 (善利組・吉居家住宅)	1 棟	江戸	個人
		佐々木家住宅	1 棟	江戸	個人
		彦根城表御殿能舞台	1 棟	江戸	彦根市
		旧彦根藩足輕組屋敷 (中藪組・瀧谷家住宅)	1 棟	江戸	個人

種 別	名 称	員 数	時 代	所 有 者	
市 指 定	建 造 物	旧彦根藩水主屋敷（水主小頭・旧磯崎家住宅） 附 土蔵・庭	1 棟	江戸	個人
		吉川家住宅 附 庭	1 棟	江戸	個人
		馬場家住宅 附 土蔵・庭	1 棟	江戸	個人
		道標「左中山道京いせ」「右彦根道」	1 基	江戸	彦根市
		旧井伊神社本殿、相の間及び拝殿	1 棟	江戸	彦根市
		旧彦根藩足軽組屋敷 （善利組・椿居家住宅）	1 棟	江戸	個人
		旧彦根藩足軽組屋敷 （善利組・北川家住宅）	1 棟	江戸	個人
		彦留神社石造宝塔	1 基	鎌倉～ 南北朝	彦留神社
		岩根家住宅	1 棟	江戸	個人
		旧彦根藩足軽組屋敷 （善利組・村山家住宅）	1 棟	江戸	個人
		荒神山神社 社務所、書院及び書院中門（旧奥山寺） 附棟札 1 枚	3 棟	江戸	荒神山神社
		荒神山神社 遥拝殿（旧観徳殿）	1 棟	江戸	荒神山神社
		市 指 定	絵 画	龍潭寺方丈絵巻 伝森川許六筆	56 面
絹本著色色阿弥陀来迎図	1 幅			鎌倉	圓常寺
絹本著色浄土变相図	1 幅			鎌倉	唯稱寺
絹本著色色阿弥陀来迎図	1 幅			鎌倉	善照寺
絹本著色朝鮮高官像	1 幅			朝鮮	宗安寺
絹本著色阿弥陀三尊来迎図	3 幅			鎌倉	高宮寺
絹本著色伝熊野権現影向図	1 幅			南北朝	高宮寺
絹本著色善導大師像	1 幅			室町	高宮寺
絹本著色阿弥陀三尊像	1 幅			室町	高宮寺
紙本金地著色秋草図屏風	6 曲 1 双			江戸	宗安寺
井伊家歴代等肖像画	15 幅			江戸	清凉寺
肥田城主肖像画	4 幅			桃山	崇徳寺
紙本著色関ヶ原合戦図（木俣家本）	6 曲 1 隻			江戸	彦根市
市 指 定	彫 刻	木造聖観音菩薩立像	1 軀	平安	慶光院
		木造阿弥陀如来坐像	1 軀	鎌倉	観音寺
		木造毘沙門天立像・木造不動明王立像	2 軀	平安	長久寺
		木造千手観音菩薩立像・脇侍 木造毘沙門天立像・木造不動明王立像	3 軀	平安・室町	千手寺
		木造聖観音菩薩立像	1 軀	平安	久留美神社
		木造十一面観音菩薩坐像	1 軀	鎌倉	延寿寺
		木造仏頭	1 箇	南北朝	延寿寺
		武悪面	1 面	桃山	個人
		天狗面	1 面	江戸	大宮神社

文化財

種 別	名 称	員 数	時 代	所 有 者	
市 指 定	彫 刻	木造役ノ行者倚像	1 軀	室町	北野寺
		木造阿弥陀如来立像	1 軀	鎌倉	下後三条町
		木造僧形半跏像	1 軀	平安	千手寺
		木造菩薩形坐像（寺伝 観世音菩薩）	1 軀	鎌倉	崇徳寺
		木造地藏菩薩立像	1 軀	平安	極楽寺
		木造毘沙門天立像	1 軀	平安	長光寺
		木造聖観音坐像	1 軀	平安	国昌寺
		木造釈迦・十大弟子像並びに 十六羅漢・五百羅漢像	527 軀	江戸	天寧寺
		木造聖観音坐像	1 軀	平安	江国寺
	工芸品	鼻高面 附 毘沙門面 1 面	2 面	室町	久留美神社
		木製半月形前卓	1 基	室町	見塔寺別院
		井伊家伝来甲冑類	60 点	桃山～ 江戸	彦根市
		銅造男神鏡像	1 面	平安	八幡神社
		金銅阿弥陀如来懸仏 金銅観音菩薩懸仏	2 面	室町	勝鳥神社
	古文書	彦根御城下惣絵図	6 幅	江戸	彦根市
		中村家文書	3,484 件	江戸	個人
		宇津木三右衛門家文書	1,145 件	江戸	個人
		山田家文書	286 件	江戸	個人
		御城内御絵図	1 舗	江戸	彦根市
		木俣清左衛門家文書	559 点	安土・桃山 ～昭和	彦根市
	書 跡	紙本墨書六字名号 蓮如筆 附 同名号 2 幅	1 幅	室町	法蔵寺
	考古資料	子持勾玉（福満遺跡出土）	1 箇	6 世紀前半	彦根市
		塔心礎（普光寺廃寺）	1 基	7 世紀後半	廣濱神社
		翡翠大珠（丁田遺跡出土）	1 箇	縄文中期	彦根市
		荒神山古墳出土埴輪	188 点	古墳前期	彦根市
	史 跡	山崎山城跡	16,882 m ²	安土・桃山	彦根市
		竹ヶ鼻遺跡	4,200 m ²	奈良	彦根市
	名 勝	明照寺庭園	1,144.43 m ²	江戸	明照寺
		龍潭寺庭園（東庭）	1,021.82 m ²	江戸	龍潭寺
	天然記念物	オオトックリイチゴ	1 種	—	彦根市
		オニバス	1 種	—	彦根市
	無形民俗	小泉町幌踊り	小泉町幌踊り保存会		
		小野町太鼓踊り	小野町太鼓踊り保存会		
		大藪踊り	大藪踊り保存会		
		高宮町かぼちゃ踊り	高宮町かぼちゃ踊り保存会		

イ 国登録有形文化財

種 別	名 称	員数	時 代	所有者
国登録 有形文化財	滋賀大学陵水会館	1 棟	昭和	滋賀大学
	滋賀大学経済学部講堂 (旧彦根高等商業学校講堂)	1 棟	大正	滋賀大学
	中村商家保存館 (主屋・文庫蔵・酒蔵)	3 棟	江戸～ 明治	個人
	スミス記念堂 (旧須美壽記念禮拜堂)	1 棟	昭和	NPO 法人スミス会議
	百々家住宅主屋	1 棟	江戸	個人
	高崎家住宅主屋 (旧川原町郵便局舎)	1 棟	昭和	個人
	宇水理髮館店舗	1 棟	昭和	個人
	滋賀中央信用金庫銀座支店店舗	1 棟	大正	滋賀中央信用金庫
	秋口家住宅洋館	1 棟	大正	個人
	奥野家住宅主屋	1 棟	江戸	個人
	上野家住宅主屋	1 棟	江戸	個人
	近江鉄道鳥居本駅舎	1 棟	昭和	近江鉄道(株)
	加藤家住宅 (旧布惣、主屋・一之蔵・二 之蔵・三之蔵)	4 棟	江戸	個人
	旧日夏村役場産業組合合同庁舎	1 棟	昭和	個人
	成宮家住宅主屋	1 棟	明治	個人
	旧石橋家住宅 (東主屋・中主屋・西主屋・東蔵・中蔵・ 西蔵・南蔵・南塀・庭塀・西塀・北塀)	11 棟	江戸～ 明治	彦根市
	森家住宅主屋	1 棟	江戸	個人
	寺村家住宅主屋	1 棟	昭和	個人

彦根城博物館

1. 施設の概要

設置場所	彦根市金亀町1番1号			
敷地面積	16,827.18 m ²			
延床面積	4,863.30 m ²			
建物構造	本棟 鉄筋コンクリート造平屋建 一部2階 木造棟 木造平屋建 一部2階 能舞台 木造平屋建			
総工費	2,400,000千円 (総事業費2,700,000千円)			
外観復元部分	収蔵・保管部門	998 m ²	教育普及部門	211 m ²
	展示部門	809 m ²	休憩サービス部門	551 m ²
	調査・研究部門	162 m ²	その他	427 m ²
	事務管理部門	857 m ²		
	木造復元部分	御座之間棟	322 m ²	局棟
	奥座敷棟	188 m ²	能舞台	154 m ²
	御亭棟	84 m ²		
庭園復元部分	2,590 m ²			
開館年月日	昭和62年2月11日			

2. 展示

(1) 常設展示

「ほんもの」との出会い

徳川幕府の譜代大名筆頭としての井伊家に伝えられた数多くの美術工芸品や古文書を中心に、受贈・購入・受託資料を併せて約9万1千点を数える博物館資料の中から、常時80点あまりを展示している。6つのテーマで構成しており、今年度は空調設備等改修工事による休館のため、年間9回の展示替えを行った。

武家の備え・・・・・・・・	甲冑・刀剣・武具	幽玄の美・・・・・・・・	能面・能装束
数寄の世界・・・・・・・・	茶道具・湖東焼	雅楽の伝統・・・・・・・・	雅楽器
風雅のたしなみ・・・・・・・・	絵画・調度品等	古文書が語る世界・・	古文書・典籍

(2) テーマ展・特別公開・企画展

展覧会名	会期	入場者数
テーマ展 大坂の陣400年「彦根藩士たちの大坂夏の陣」	平成27年6月1日～7月7日	14,284人
特集展示 滋賀県指定有形文化財 指定記念「彦根藩井伊家歴代の甲冑」	平成27年6月1日～7月7日	14,284人
テーマ展 シリーズ直弼のこころ「井伊直弼のことば―手紙にあらわれた人柄―」	平成27年7月10日～8月18日	23,783人
企画展 シリーズ直弼のこころ「忠義の人 遠城謙道―主君直弼への思いと禅画―」	平成27年8月21日～9月15日	11,126人
特別展 シリーズ直弼のこころ「一期一会の世界 大名茶人 井伊直弼のすべて」	平成27年9月18日～10月20日	19,857人
テーマ展 シリーズ直弼のこころ「学びの人 井伊直弼」	平成27年10月23日～11月24日	15,605人
テーマ展 シリーズ直弼のこころ「井伊直弼の甲冑と刀剣」	平成27年11月27日～12月23日	7,997人
テーマ展「天の美祿―酒にまつわる美術―」	平成28年1月1日～2月2日	8,586人

特別公開「弥千代の雛と婚礼調度」	平成 28 年 2 月 5 日～3 月 8 日	9,754 人
テーマ展「近江ゆかりの ^{たくみ} 工匠－刀工・鐔師・鉄砲鍛冶－」	平成 28 年 3 月 11 日～4 月 12 日	19,647 人

3. 収集・保管

(1) 購入資料

名 称	数 量
寿老人山水図 狩野永岳筆	2 幅
梅図 青根九江筆	1 幅

(2) 受贈資料

名 称	数 量	寄 贈 者
広瀬将像由緒扁額	1 面	外村 富子 氏
生花透鐔 銘 江州記内	1 枚	小笠原信夫 氏
吹き流し 1 流 ほか	2 件	小田切純子 氏
朱漆塗紺糸威縫延二枚胴 (附 待受) 1 領 ほか	59 件	孕石 真一 氏
朱漆塗桶側五枚胴 (附 受筒) 1 領 ほか	18 件	孕石 泰和 氏
内林政夫氏所蔵文書	4 点	内林 政夫 氏

(3) 資料修理

名 称	数 量
重要文化財彦根藩井伊家文書のうち 御城使寄合留帳 老中奉書 断簡整理	3 点※ 一括
箏	1 面
琵琶	1 面
能装束のうち 唐織 紅濃茶薄茶段袷垣に牡丹薄文様	1 領
和歌懐紙「霍公鳥…」井伊直弼筆 和歌懐紙「こころさへ…」井伊直弼筆	2 枚

※は平成 26 年度および 27 年度に継続して修理を実施

(4) 資料貸出

8 展覧会 19 件

4. 調査・研究

- ・井伊家伝来資料を中心とする博物館資料の調査を進めた。
- ・大名道具を中心とした美術工芸品、旧藩士家・彦根藩関係文書の調査を行い、各分野の研究を進めた。
- ・市内を中心とした個人・寺社所蔵の美術工芸品、古文書の調査を進めた。
- ・特別展、企画展およびテーマ展開催に関わる資料の調査研究を進めた。あわせて平成 28 年度以降に開催する展覧会関連資料の調査研究を進めた。
- ・井伊家伝来弓具の基礎調査を調査補助員とともに行った。
- ・井伊家伝来刀剣の基礎調査を専門家の協力を得て行った。
- ・「彦根城博物館研究紀要」第 26 号を刊行した。

- ・大名道具を収蔵する博物館が集まり、大名道具や大名家の歴史に関する研究発表・情報交換を行う「大名道具収蔵館研究会」の第22回研究会を当館で開催した。

日 時：平成27年12月16日（水）

会 場：当館講堂

5. 普及

- ・特別展関連講演会 第1回「井伊直弼の茶の湯」 参加者数：76人
- ・特別展関連講演会 第2回「井伊直弼ゆかりの茶道具」 参加者数：16人
- ・城郭博物館三館連携講演会「信長・秀吉・家康 天下人と家臣たち」
（長浜市長浜城歴史博物館と滋賀県立安土城考古博物館との連携講演会） 参加者数：225人
- ・講演会「歴史の中の老中奉書～『彦根藩井伊家文書』保存修理の成果から～」
参加者数：40人
- ・テーマ展等ギャラリートーク（年間10回開催） 参加者数：延べ512人
- ・博物館講座（美術講座・入門講座・出張講座） 参加者数：延べ443人
- ・博物館教室（古文書のみかた・キッズサマースクール） 参加者数：延べ509人
- ・博物館夏祭り（県内博物館等により開催する子ども向けワークショップ）
参加者数：63人（来場人数延べ661人）
- ・彦根城博物館だより 年4回 各8,000部発行
- ・博物館学芸員実習 平成27年8月の5日間で5大学から5人を受入
- ・学校との連携
 - 職場体験 4件 参加者数：13人
 - 質問対応・見学 10件 参加者数：547人
 - 大学の講義：滋賀県立大学「博物館展示論」の講義に出講 6日 受講者数：48人
- ・博物館案内（博物館の研修旅行等の団体来館に対して館を案内） 2件 参加者数：65人
- ・講師派遣（自治体、学校、公民館、市民団体等からの依頼で講師派遣）
61件 受講者数：延べ3,098人
- ・彦根城博物館ホームページ（日本語版）<http://hikone-castle-museum.jp/>
（英語版）<http://hikone-castle-museum.jp/en/>

6. 市民との協働

（1）彦根城博物館友の会

- ・展示解説ボランティアガイド登録者数：13人 活動回数：延べ290回

（2）博物館支援スタッフ

博物館事業の運営に関わる支援スタッフを募集し、博物館職員と共に活動した。

- ・彦根城能・狂言運営事業 活動者数：延べ91人
- ・教育普及事業 活動者数：延べ53人
- ・古文書解読ボランティア 活動者数：延べ242人

7. 催物

- ・彦根城表御殿 水無月狂言の集い 平成27年6月27日 観覧者数：202人
- ・第49回彦根城能【井伊直弼公生誕200年祭関連事業】
平成27年9月22日 観覧者数：200人
- ・彦根城表御殿 錦秋狂言の集い【井伊直弼公生誕200年祭関連事業】
平成27年11月1日 観覧者数：250人

8. 刊行物・印刷物

名 称	発 行 年 月
忠義の人 遠城謙道一主君直弼への思いと禅画一	平成 27 年 8 月
一期一会の世界 大名茶人 井伊直弼のすべて	平成 27 年 9 月
重要文化財「彦根藩井伊家文書」老中奉書等修理報告書	平成 28 年 3 月
彦根城博物館研究紀要 第 26 号	平成 28 年 3 月

9. 利用状況

(1) 彦根城博物館入館状況

(単位：人)

	一 般	小・中学生	団 体	無料 (公用等)	合 計
平成 24 年度	116,649	12,497	4,655	18,143	151,944
平成 25 年度	109,552	11,154	4,825	17,620	143,151
平成 26 年度	73,558	8,167	2,909	10,187	94,821
平成 27 年度	95,600	9,927	4,115	15,813	125,455

※臨時休館 (平成 26 年 10 月 1 日から平成 27 年 5 月 31 日)

(2) 彦根城博物館特別利用状況 (平成 27 年度)

(単位：件)

区 分	熟 覧	撮 影	原板使用	合 計
利用件数	14	15	242	263

※1 件の申請で「熟覧」・「撮影」等を重複して申請をすることがあるため、「熟覧」・「撮影」・「原板使用」の合計と、「合計」とは一致しない。

(3) 画像資産利用

(単位：件)

区 分	掲 載	閲覧・複写	委託業者からの貸出	合 計
利用件数	7	2	6	15

※平成 28 年 3 月より、画像貸出の手続きを変更し、業務の一部を外部委託化した。

(4) 彦根城博物館施設利用状況

(単位：件・人)

区 分		能舞台	木造棟	講 堂	合 計
平成 24 年度	利用件数	47	13	135	195
	利用者数	2,978	315	3,718	7,011
平成 25 年度	利用件数	49	10	113	172
	利用者数	2,204	517	2,845	5,566
平成 26 年度	利用件数	33	5	68	106
	利用者数	1,388	260	1,861	3,509
平成 27 年度	利用件数	48	10	126	184
	利用者数	3,223	878	3,233	7,334

(5) 国宝紙本金地著色風俗図（彦根屏風）商標使用状況（平成27年度）

（単位：件）

使用件数	13
------	----

10. 薄茶席・売店運営

(1) 薄茶席

彦根城博物館の普及活動の一環として、日本の伝統文化の体験と来館者へのサービスを提供するため、薄茶席コーナーを設けた。

一服 500円

(2) 売店

彦根城博物館の普及活動の一環として、彦根城博物館に関連する彦根屏風ミニチュアをはじめ、図録等の普及物品を販売した。

彦根城世界遺産登録

「彦根城」は、わが国が「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約（通称：世界遺産条約）」を承認した平成4年に、世界遺産暫定一覧表に登録された。本市では、「彦根城」が暫定一覧表に登録されて以来、特別史跡彦根城跡等の保存整備を計画的に進め、彦根城の普遍的価値を証明するための調査などに取り組んできた。

平成19年度に市長部局（企画振興部）に推進担当職員を配置し、翌年度に彦根城世界遺産登録推進室を設置した。また、平成26年度には、調査研究を効率的に進めることを目的に、同推進室とは別に、教育委員会事務局文化財部に彦根城世界遺産登録準備室を設置した。そして、平成27年度からは、世界遺産登録業務にかかる組織を統合し、彦根市教育委員会事務局文化財部に彦根城世界遺産登録推進課を新設した。

1 縣市連絡調整会議

滋賀県と本市の担当者が、彦根城とその関連資産の世界遺産登録に向けての作業の進捗状況を確認し、その後の作業の進め方について協議する縣市連絡調整会議を必要に応じて開催している。

2 世界遺産登録作業グループ

彦根城とその関連資産の比較研究や普遍的価値の証明を目的とした基礎調査を行うために、滋賀県と本市の担当者による作業グループを設置し、検討を重ねている。

平成27年度は、文化庁から示された課題である「姫路城との差別化」について報告書を作成し、文化庁へ成果を報告した。また、報告書で示した方向性をもとに彦根城とその関連資産の機能や特徴を整理するとともに、「彦根城における水の利用」の報告書を作成した。同時に国内の近世城郭との比較研究の方法について議論し、調査に着手した。

3 国内外の専門家の招聘

世界遺産に関する国内外の専門家を本市に招聘し、世界遺産登録に関する最新の情報を学ぶとともに、本市の世界遺産登録に向けての作業にかかる助言や指導を受けている。

平成27年度は、ローマ大学のパオラ・ファリーニ教授、京都府立大学の宗田好史教授、早稲田大学の西村正雄教授、前イングリッシュ・ヘリテージ世界遺産・国際政策担当責任者のクリストファー・ヤング氏、パリ東アジア文明研究センター長のニコラ・フィエヴェ氏を招聘し、彦根城とその関連資産を視察していただき、助言を受けた。さらに、法政大学を訪れ、陣内秀信教授の助言を受けた。

4 特別史跡彦根城跡保存管理（活用）計画の改訂

昭和59年（1984年）に策定された「特別史跡彦根城跡保存管理計画」を平成26～27年度の2箇年計画で抜本的に見直すこととし、外部有識者6名によって構成される「特別史跡彦根城跡保存管理計画・整備基本計画検討委員会」を設置した。委員会での検討の結果、既存の計画を改定し、活用の基本方針を加えて名称を「特別史跡彦根城跡保存活用計画」に改め、平成28年3月に策定した。

5 世界遺産登録に関する啓発活動

市役所本庁舎と彦根駅への彦根城の世界遺産登録にかかる看板の設置、市ホームページでの情報発信に加え、彦根城とその関連資産に関するパンフレットや啓発冊子を作成・配布した。「広報ひこね」3月1日号に彦根城世界遺産登録に関する特集を掲載した。